

学位取得プロセス		専門学識コース		研究職コース				
		前期課程 入学者		前期課程 入学者	後期課程 入学者			
指導教員確定	入学試験出願の際に届け出た志望教員に連絡し、指導教員の確認を行う。	前期課程 1年	指導委員会による指導（2カ月に1回以上の開催）	後期課程進学条件 34単位以上修得 ※博士論文指導委員会の指定する主分野外科目12単位を含む	後期課程 1年			
博士論文指導委員会設置	<構成>委員長(指導教員)、委員1名の計2名 <指導内容> 博士論文指導および後期課程進学のため必要とされる「主分野外科目」の指示等 ※指導委員会は、決定次第(4月中旬)通知する。	前期課程 1年				前期課程 1年	後期課程 1年	
博士論文 研究準備計画書 提出	<記載内容> 研究の目的、論文の基本構想等。 <提出締切> 1年次の春学期末日 ※指導委員会が認めた場合に限り3月に提出できるものとする。							
博士課程前期課程	<修了要件> ●前期課程に2年以上在学すること ●所定の授業科目について、次を含む30単位以上を修得すること ・「研究演習Ⅰ」「研究演習Ⅱ」計8単位 ・「原典講読(英)」、「原典講読(独)」、「原典講読(仏)」から1科目2単位 ●専門外国語学力の認定を受けること(原典講読1科目の修得によって認定される。) ●修士論文の審査及び最終試験に合格すること	前期課程 1年・2年				前期課程 1年・2年	後期課程 1年	
修士論文審査および最終試験(口頭試問)		前期課程 2年				前期課程 2年		
修士学位授与								
課程博士学力試験	■専門科目■ 主分野学力試験を行う。 <受験資格> ●主分野外科目12単位*を修得していること。 ●博士論文研究準備計画書に記載した研究テーマに関する論文1本(修士論文を含む)を公表していること。 論文の要件は博士論文指導委員会が判定する。 ●後期課程進学後5年以内の者(満期退学者は、在学を条件としない)。 <試験内容>文献リスト(実施日の1年前に発表)に従った論文試験 <試験時間>180分 <試験日程>年2回(6月または12月)実施  ※商学研究科の授業科目(専門科目)から修得すること。ただし、他大学大学院研究科または本学大学院他研究科において修得した授業科目が商学研究科の授業科目に相当すると博士論文指導委員会が認めた場合、これを含めることができる。  ■外国語■ 英語、独語、仏語のうち、1つについて行う。 なお、原典講読(英)、原典講読(独)、原典講読(仏)のうち1科目の修得をもってこれに代えることができる。							
博士課程後期課程	<必要単位> ●指導教員の指導によって定める <修了要件> ●前期課程を含み5年以上在学すること ●専門外国語学力の認定を受けること ●博士論文の審査及び最終試験に合格すること						後期課程 1年	後期課程 1年・2年・3年
課程博士 候補者試験 申請書提出	<申請資格> ●課程博士学力試験に合格していること。 ●博士論文のテーマに関する論文3本以上(修士論文を含む)を公表していること。 論文の要件は博士論文指導委員会が判定する。 <記載内容>論文の目次、論文の概要を記載。							
博士論文 審査委員会設置	<構成> 博士論文指導委員会メンバーを主査、副査とし、副査をもう1名加えた3名。							
課程博士 候補者試験 (公開報告)	<試験内容>博士論文の概要についての報告および口頭試問 <試験時間>120分  合格者は課程博士候補者となる。 ※博士学位申請論文の提出期間が決まっているため、 後期課程進学後6年目の春学期終了までに合格しておく必要がある。 ※必要な場合は、「課程博士候補者証明書」の発行を求めることができる。			後期課程 2年・3年	後期課程 2年・3年			
博士学位申請論文 提出	<申請資格> ●課程博士候補者(後期課程進学後6年以内の者)。 ●後期課程に在籍する者(満期退学者は再入学が必要)。 <提出期間> 各年4月下旬および10月下旬							
博士論文審査および最終試験(口頭試問)								
博士学位授与								